

学外実習 (Internship)	4 年・夏季・1 単位・選択 情報工学科・担当 山口 賢一	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (4)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-2(70%), A-2(30%)	〔JABEE 基準〕 (b), (d-2d), (i)
<p>〔教育方法等〕</p> <p>概要： 企業などにおける実体験を通じて、実践的な技術を学ぶとともに、技術者として必要な適応能力を養う。また今後の学生生活における学習の意義および位置付けを明確化し、将来の進路決定の一助とする。学生の希望と受け入れ企業の状況を勘案して、実習先を決定する。</p> <p>授業の進め方と授業内容・方法： 夏季休業期間中に 5 日・30 時間以上、実習先企業担当者の指導のもと、実習を行う。実習中に担当教員が実習先企業を訪問し、実習の状況を視察する。実習終了後、速やかに実習修了証明書、実習業務日誌、実習報告書、単位認定申請書(学科主任宛)を提出する。</p> <p>注意点： 関連科目 今まで学んだ全ての科目が関連する。 学習指針 実体験をととして今後学習する科目の位置付けを理解する。 自己学習 受け入れ先企業で求められる決まり事を順守できるようにしておく。</p>		
<p>〔教科書〕 使用しない。事前の説明会において必要な資料等を配布する。</p> <p>〔補助教材・参考書〕 前年度以前の実習報告書。受け入れ先企業等のホームページなど。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人・職業人として必要な考え方・態度を、実体験を通じて理解する。 ・ 職場グループの中で、十分なコミュニケーションのとり方を学ぶ。 ・ 就業の大切さを実感できる。 ・ 学外実習の成果報告会で、決められた時間内でわかりやすく成果報告が口頭発表できる。 		
<p>〔評価割合〕</p> <p>本人からの単位認定申請書（学科主任宛）の提出を受けて</p> <p>実習先での学外実習修了証明書および業務日誌（50%） 学外実習報告書（25%） 学内での報告会での発表（25%）</p> <p>4 点によって評価する（4 点全て満たすことを合格の条件とする）。</p>		

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
夏 期	1 週			
	2 週	1. 実習時期 2. 実習期間 3. 実習の内容	夏季休業期間中 5 日間以上にわたり，合計 30 時間以上従事 設計，生産技術，生産管理，品質管理，実験および実験 助手，機能・性能試験，販売，サービスなどの分野	
	3 週	4. 学外実習先 5. スケジュール	学科が認めた実習先学科が認めた実習先 (民間企業，高専機構との連携がある研究機関，行政機関) 5 月 学外実習ガイダンス	
	4 週		・ 概要説明 ・ 実習先企業の紹介と実習内容の説明 ・ 安全教育	
	5 週	6 月 事前研修会	・ 希望調査と割り振り ・ 学外実習の心構えなどの事前学習 ・ 講演会出席(外部講師)	
	6 週	7～8 月 実習	・ 実習先でのオリエンテーション ・ 実習に従事 ・ 日誌および報告書の作成	
	7 週			
	8 週	9 月 学外実習のまとめ	・ 成果報告書の提出 ・ 報告会準備 ・ 学外実習の成果報告会	
	9 週			
	10 週			
	11 週			
	12 週			
	13 週			
	14 週			
	15 週			
	16 週			

* 4：完全に達成した，3：ほぼ達成した，2：やや達成できた，1：ほとんど達成できなかった，0：まったく達成できなかった。